

学校法人 玉手山学園
 **関西福祉科学大学**
卒業生・事業所アンケート 2025

回答結果集計報告書

2026年3月
関西福祉科学大学 学生支援センター

1. アンケート概要

本アンケートは、関西福祉科学大学 学生支援センター 就職担当部門が実施した、関西福祉科学大学卒業生、ならびに当該卒業生の就職先事業所を対象としたアンケートである。今後の教育内容改善、就職支援活動の改善に向けて、就職後の社会人としての基礎的な行動力を問うアンケートを実施した。

調査目的	就職後の社会人としての基礎的行動力の測定
実施期間	2025年8月21日～9月17日(28日間)
実施手法	Microsoft Forms を用いた Web アンケート、対象へは郵送にて依頼
調査対象	① 2024.3 本学卒業生：455 名 ② 上記卒業生の就職先：382 事業所／455 名分
実施	関西福祉科学大学 学生支援センター

2. 設問項目概要

本アンケートでは、設問を「回答者属性／現在の勤務・在籍状況」「社会人基礎行動力」の2セクションに分けている。各セクション別の設問項目は以下のとおりである。

①卒業生対象

回答者属性 現在の勤務・在籍状況	Q1-6	氏名、在学時の所属学科・専攻、勤務先名、在職状況、退職理由(退職の場合のみ)、転職先(転職の場合のみ)
社会人基礎行動力	Q7-12	コミュニケーションについて 問題解決について マナーについて 自己管理について 協調性について その他

②事業所対象

回答者属性 現在の勤務・在籍状況	Q1-4	事業所名、卒業生氏名、在職状況、退職理由(退職の場合のみ)
社会人基礎行動力	Q5-10	コミュニケーションについて 問題解決について マナーについて 自己管理について 協調性について その他
データサイエンス教育 に関して	Q11	

3. 回答数

回答数 ①卒業生：68件 ②事業所：267件

①卒業生

学科	回答数	送付数	回答率
社会福祉学科	14	111	12.6%
心理科学科	9	67	13.4%
健康科学科	13	54	24.1%
福祉栄養学科	5	51	9.8%
リハビリテーション学科	16	111	14.4%
教育学科	11	61	18.0%
合計	68	455	14.9%

②事業所

学科	回答数	送付数	回答率
社会福祉学科	72	111	64.9%
心理科学科	33	67	49.3%
健康科学科	32	54	59.3%
福祉栄養学科	23	51	45.1%
リハビリテーション学科	66	111	59.5%
教育学科	41	61	67.2%
合計	267	455	58.7%

4. 設問別集計結果

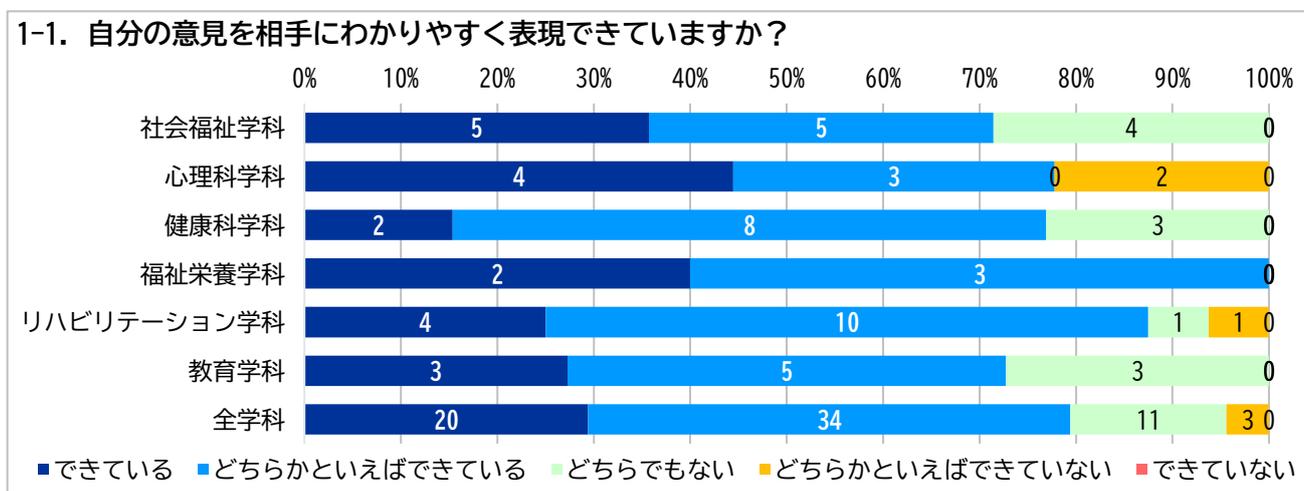
【1. コミュニケーションについて】

[1-1. 自分の意見を相手にわかりやすく表現できていますか?][1-2. 相手の意見を丁寧に聞き、理解することができますか?]はともに、卒業生自己評価、事業所評価の双方で「できている」「どちらかといえばできている」の割合が高いものの、「どちらかといえばできていない」「できていない」が特に事業所評価で一定割合見られる。

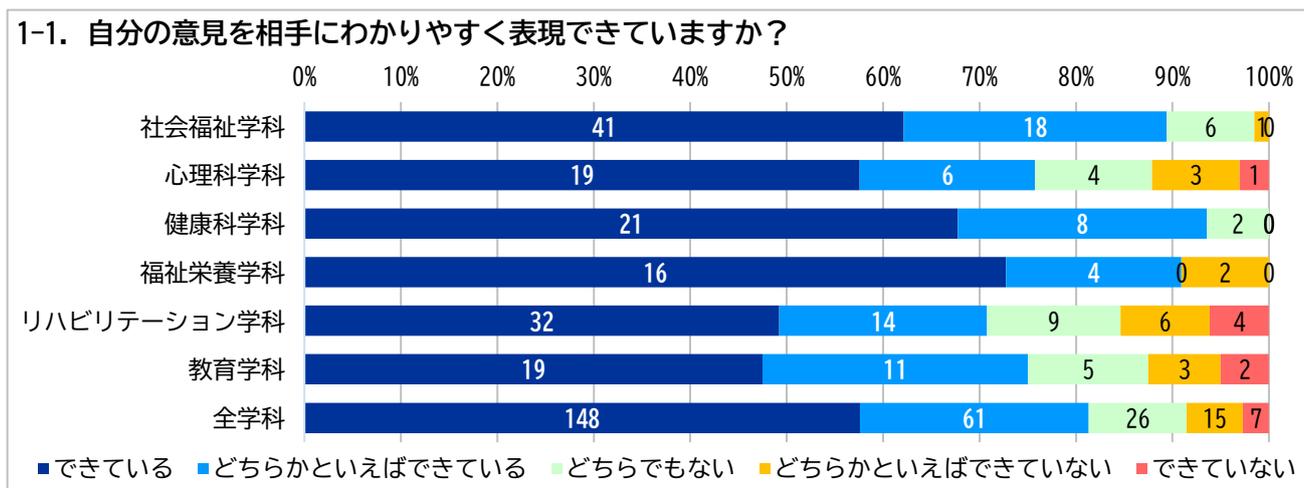
また、卒業生自己評価において、「できている」「どちらかといえばできている」の割合は、1-1が1-2より一定程度低く、相手の意見を聞いて理解するよりも、自分の意見を相手に分かりやすく表現することに自信が持てない卒業生の様子も見える。

1-1. 自分の意見を相手にわかりやすく表現できていますか? (以下、棒グラフ内の数字はすべて実回答数)

<卒業生>

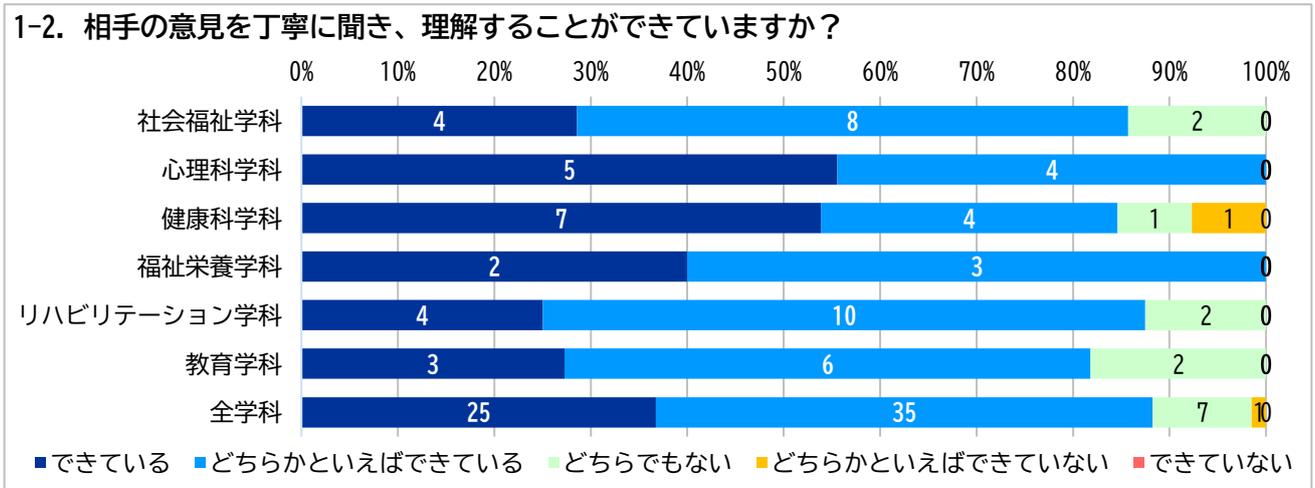


<事業所>

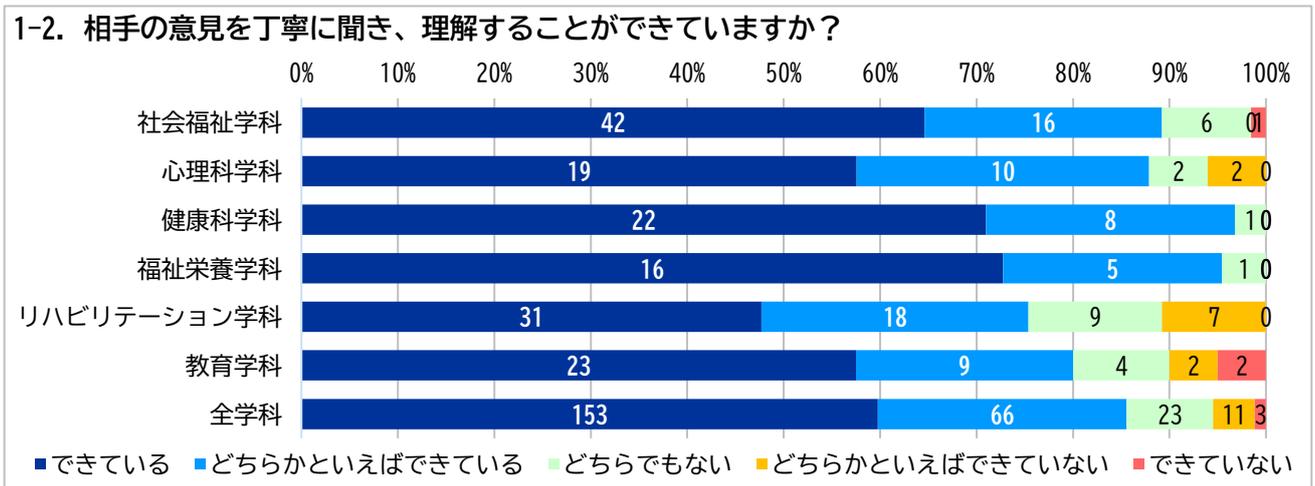


1-2. 相手の意見を丁寧に聞き、理解することができますか？

<卒業生>



<事業所>



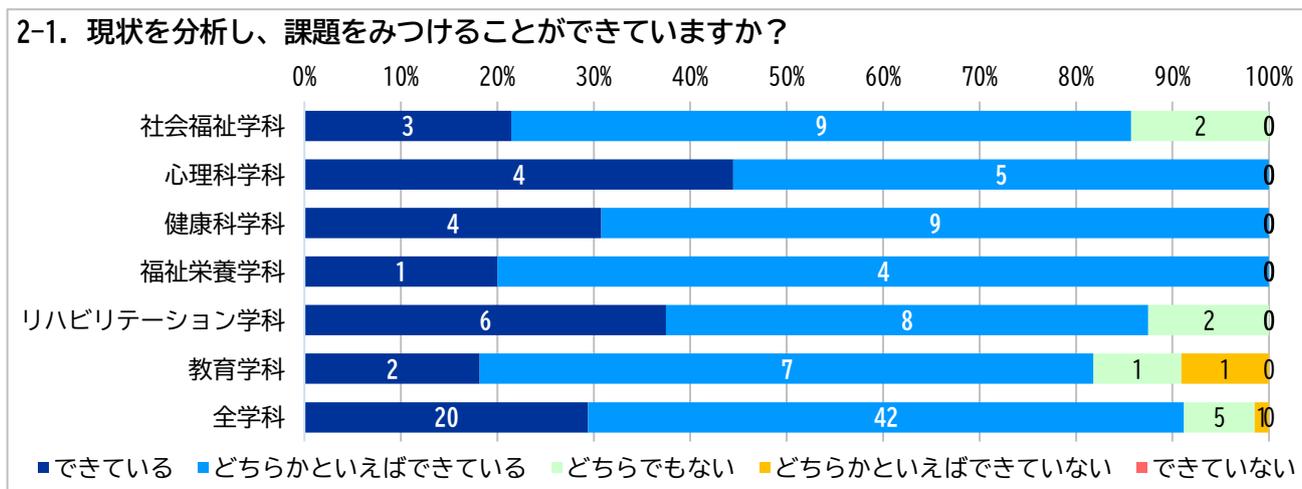
【2. 問題解決について】

[2-1. 現状を分析し、課題を見つけることができますか？][2-2. 問題解決に向けた情報を収集できますか？][2-3. 問題解決に向けた手順を考えて行動できていますか？]はいずれも、卒業生自己評価、事業所評価の双方で「できる」「どちらかといえばできる」の割合が高いものの、事業所評価では、他の設問より低い傾向にあり、「どちらかといえばできない」「できない」も一定割合見られるため、問題解決能力には不十分さを感じている事業所の様子も見える。

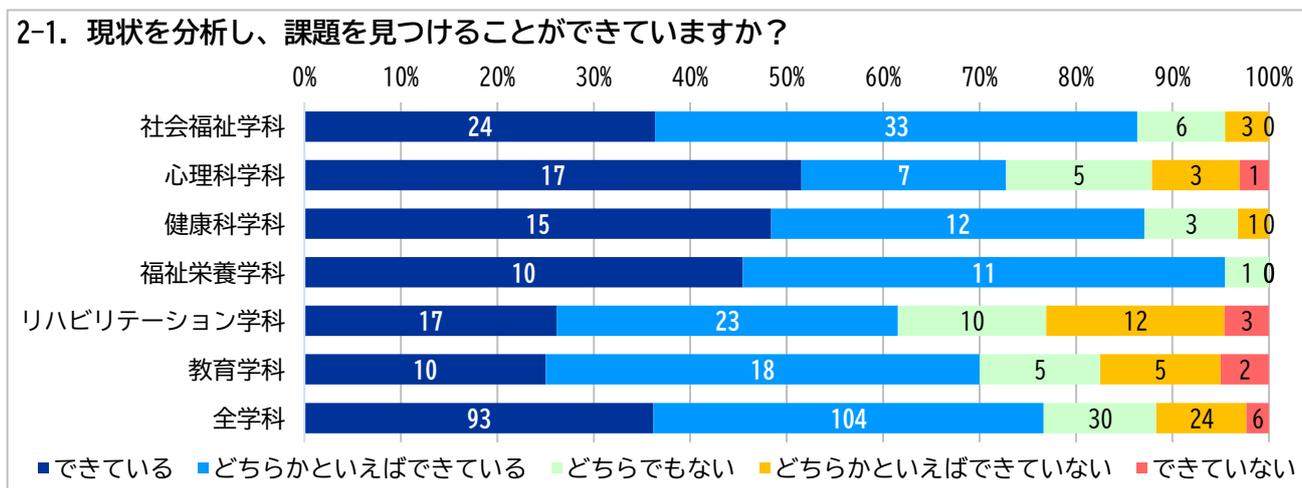
また、卒業生自己評価において、「できる」「どちらかといえばできる」の割合は、2-3が2-1、2-2よりやや低く、問題解決の手順を実際に考えて行動に移すまでは至っていないと感じている卒業生の様子も見える。

2-1. 現状を分析し、課題をみつけることができますか？

<卒業生>

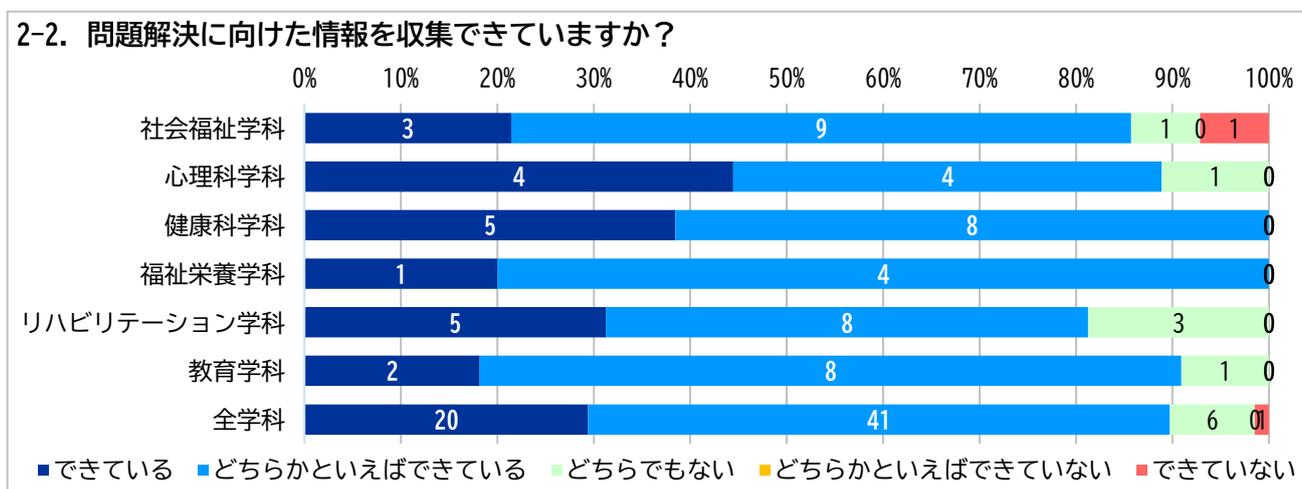


<事業所>



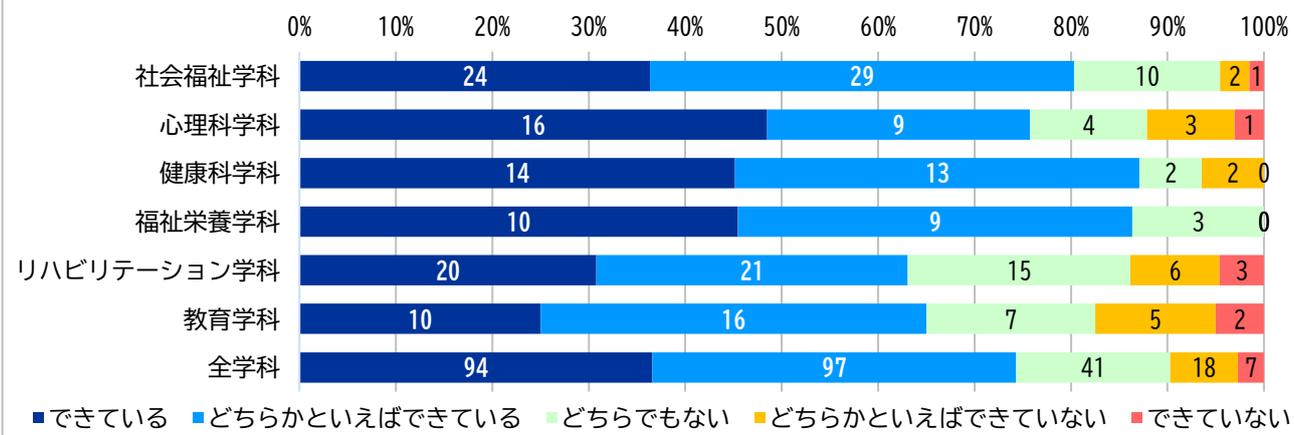
2-2. 問題解決に向けた情報を収集できていますか？

<卒業生>



<事業所>

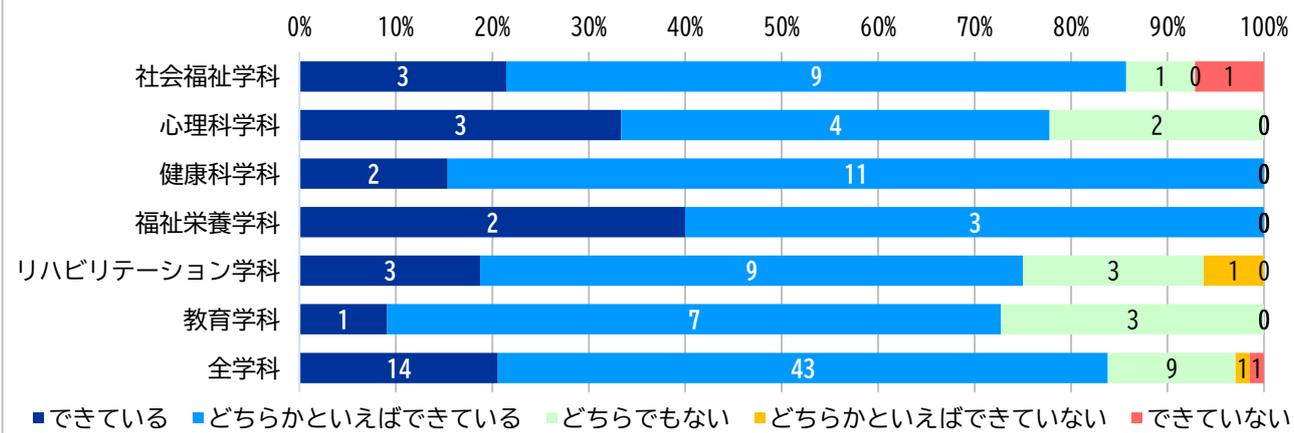
2-2. 問題解決に向けた情報を収集できていますか？



2-3. 問題解決に向けた手順を考えて行動できていますか？

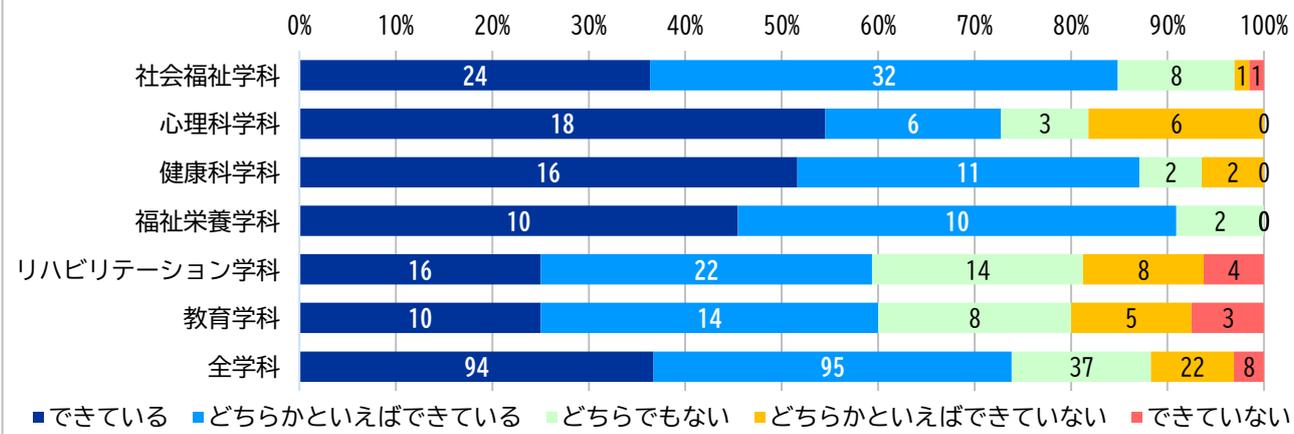
<卒業生>

2-3. 問題解決に向けた手順を考えて行動できていますか？



<事業所>

2-3. 問題解決に向けた手順を考えて行動できていますか？



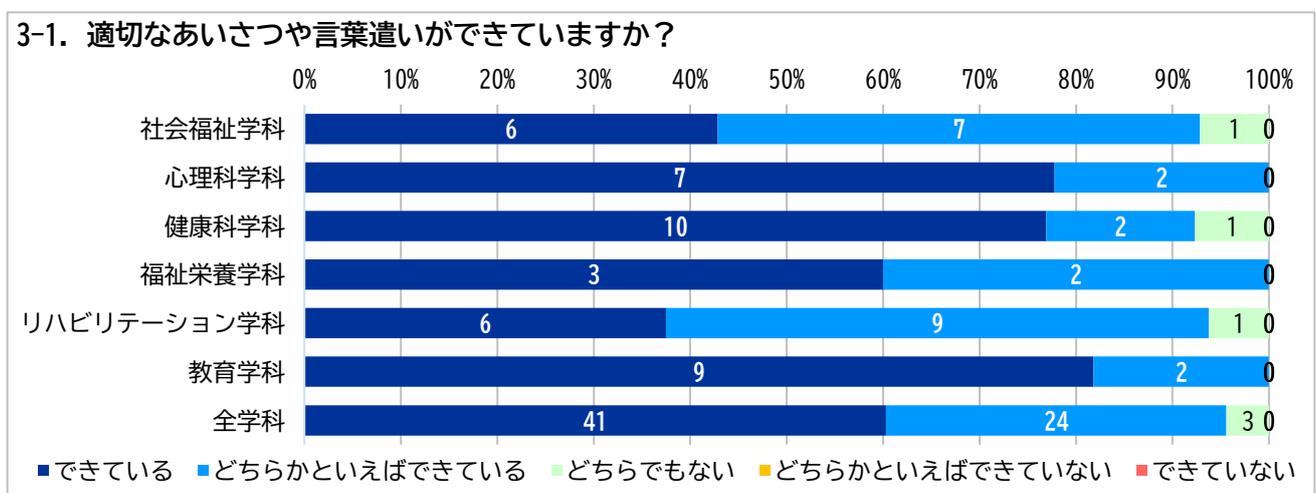
【3. マナーについて】

[3-1.適切なあいさつや言葉遣いができていますか?]は、卒業生自己評価、事業所評価の双方で「できている」「どちらかといえばできている」の割合が高く、他の設問より高い傾向にあり、あいさつや言葉遣いはできていると感じている卒業生が多く、事業所からも評価されている様子が見える。

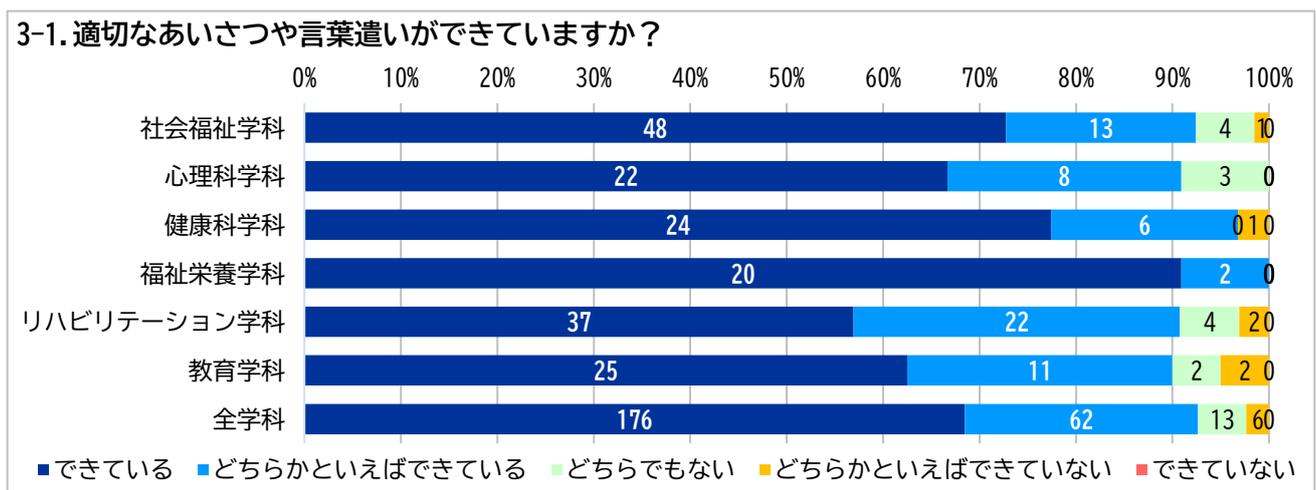
[3-2.適切な電話対応や来客対応ができていますか?]も、卒業生自己評価、事業所評価の双方で「できている」「どちらかといえばできている」の割合は高いものの3-1より低く、特に卒業生自己評価では3-1との差が大きい。こうした結果から、あいさつや言葉遣いに比べると、電話対応や来客対応に自信が持てない卒業生の様子も見える。

3-1. 適切なあいさつや言葉遣いができていますか？

<卒業生>

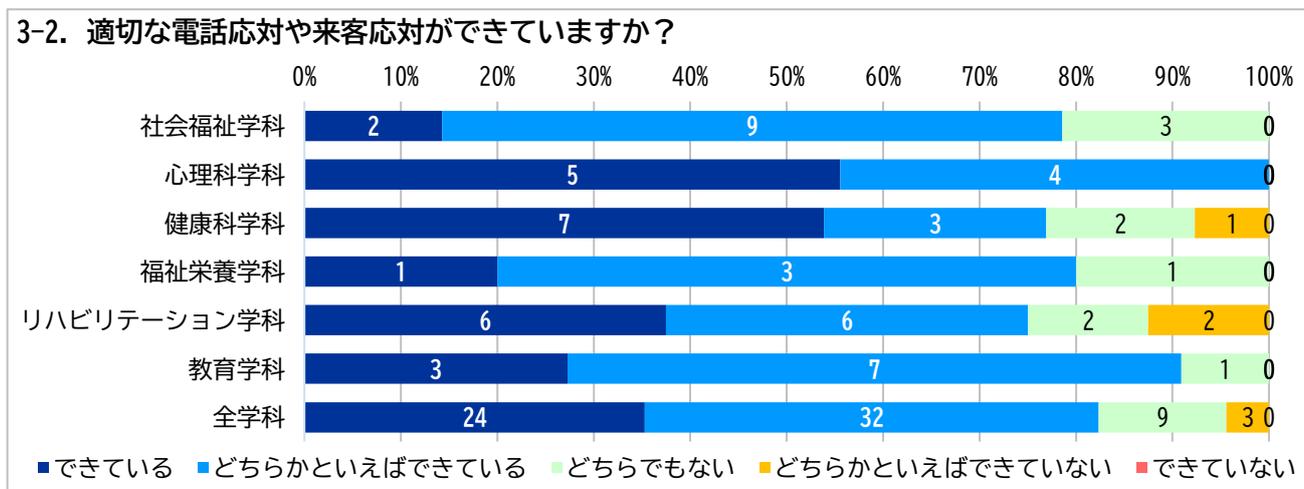


<事業所>

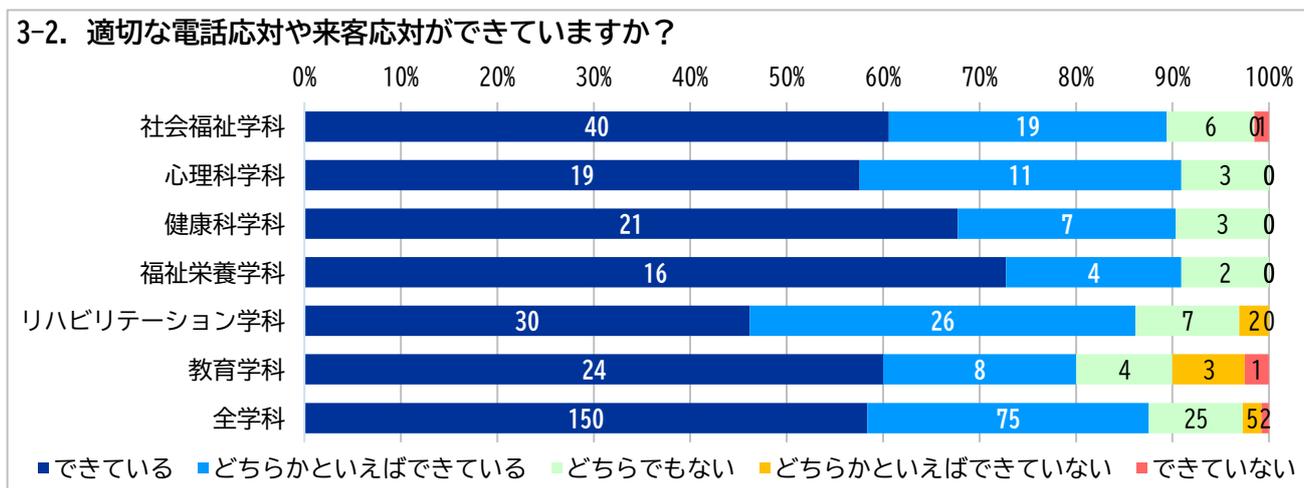


3-2. 適切な電話応対や来客応対ができていますか？

<卒業生>



<事業所>

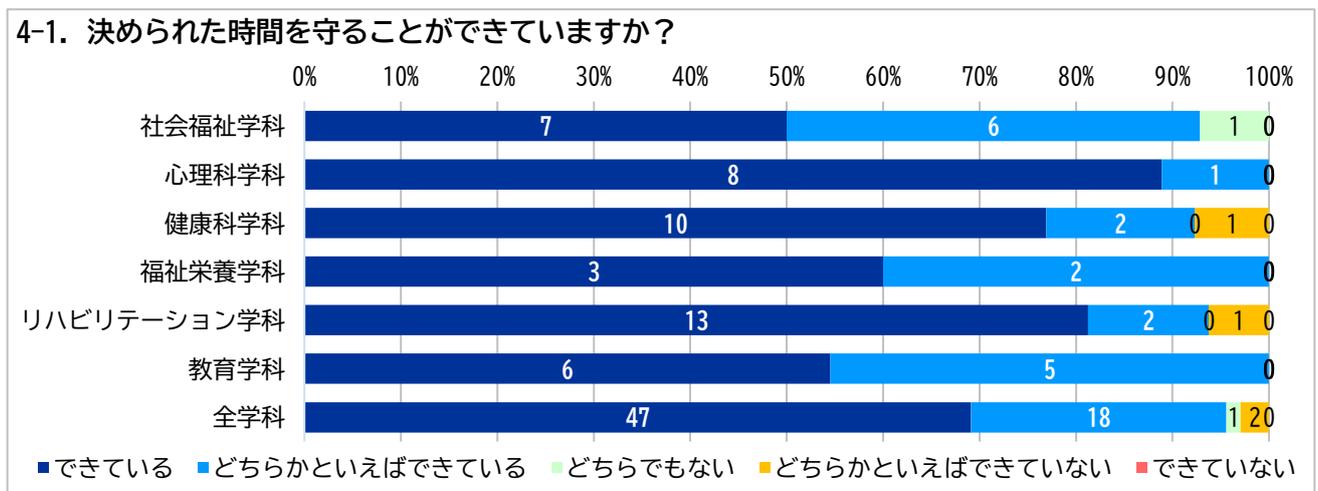


【4. 自己管理について】

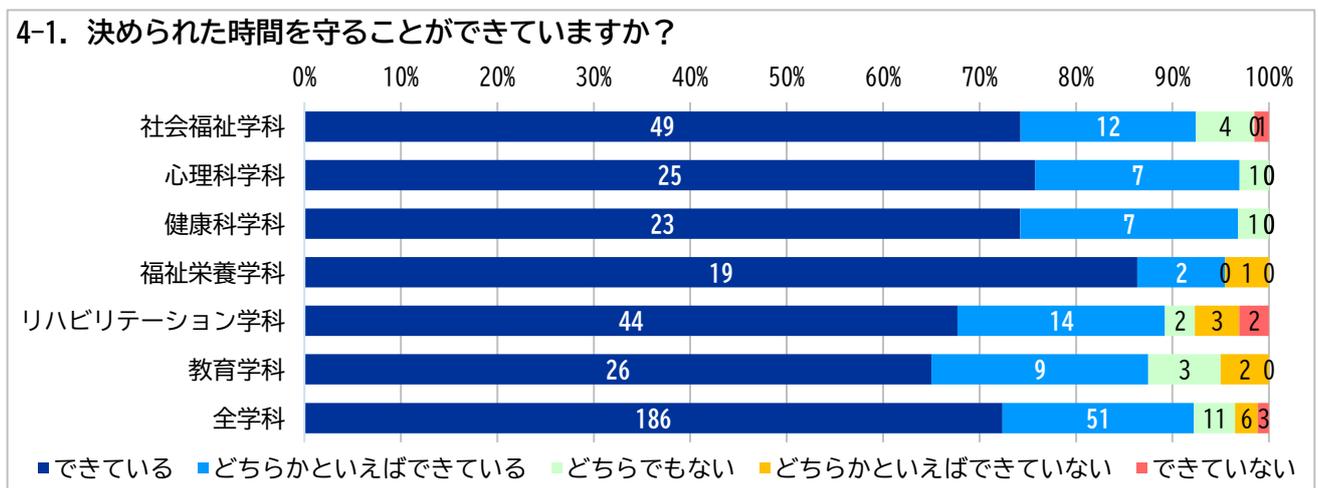
[4-1. 決められた時間を守ることができていますか？][4-2. スケジュール管理ができていますか？]はともに、卒業生自己評価、事業所評価の双方で「できている」「どちらかといえばできている」の割合が高く、他の設問より高い傾向にあり、時間の管理を日常的に意識できている卒業生の様子が見える。

4-1. 決められた時間を守ることができていますか？

<卒業生>

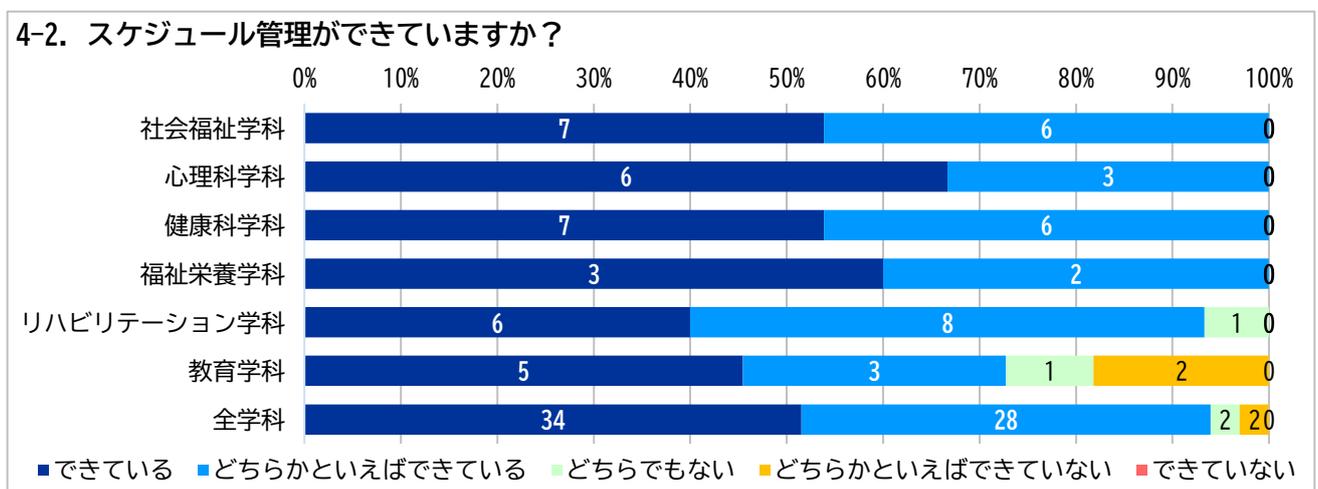


<事業所>



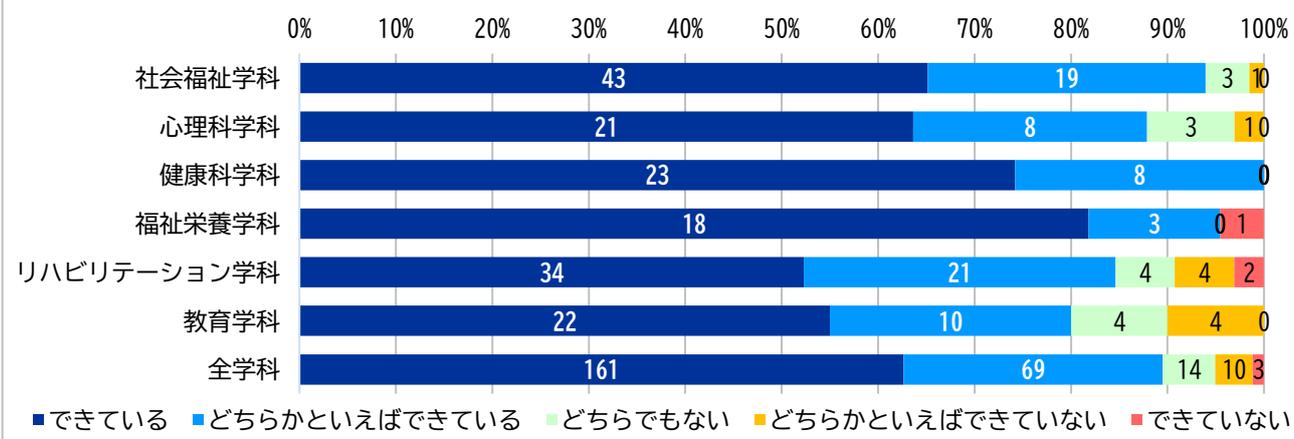
4-2. スケジュール管理ができていますか？

<卒業生>



<事業所>

4-2. スケジュール管理ができていますか？



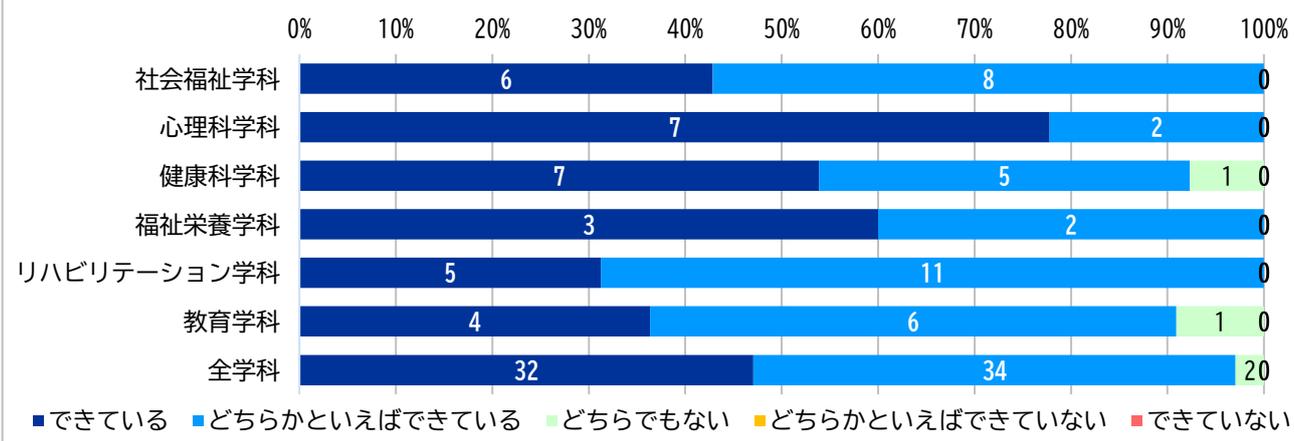
【5. 協調性について】

[5-1. 自分の役割を認識できていますか？][5-2. 職場の方々と協力できていますか？][5-3. 自分から職場の方々への働きかけができていますか？]はともに、卒業生自己評価、事業所評価の双方で「できている」「どちらかといえばできている」の割合が高いものの、5-3 は他の設問より低い傾向にあり、「どちらかといえばできていない」「できていない」が一定割合見られる。こうした結果から、自分の役割を認識し、職場の方々と協力はできているものの、自らが働きかけるところまでは至っていない卒業生の様子も見える。

5-1. 自分の役割を認識できていますか？

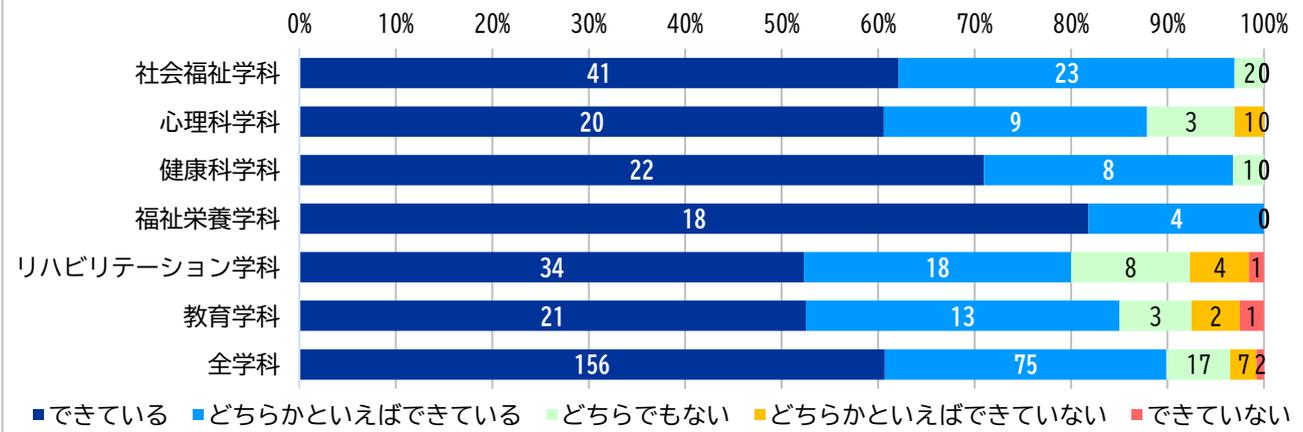
<卒業生>

5-1. 自分の役割を認識できていますか？



<事業所>

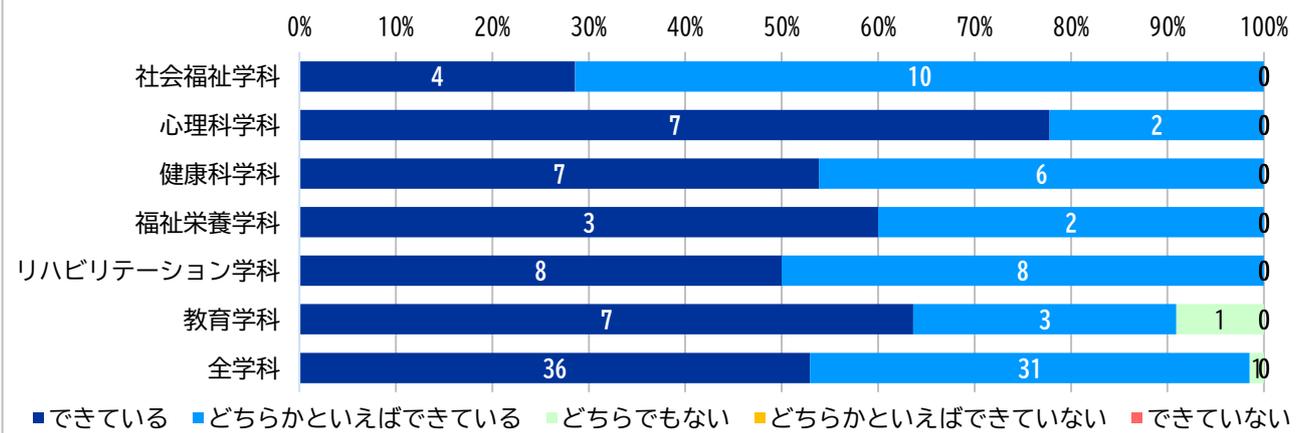
5-1. 自分の役割を認識できていますか？



5-2. 職場の方々と協力できていますか？

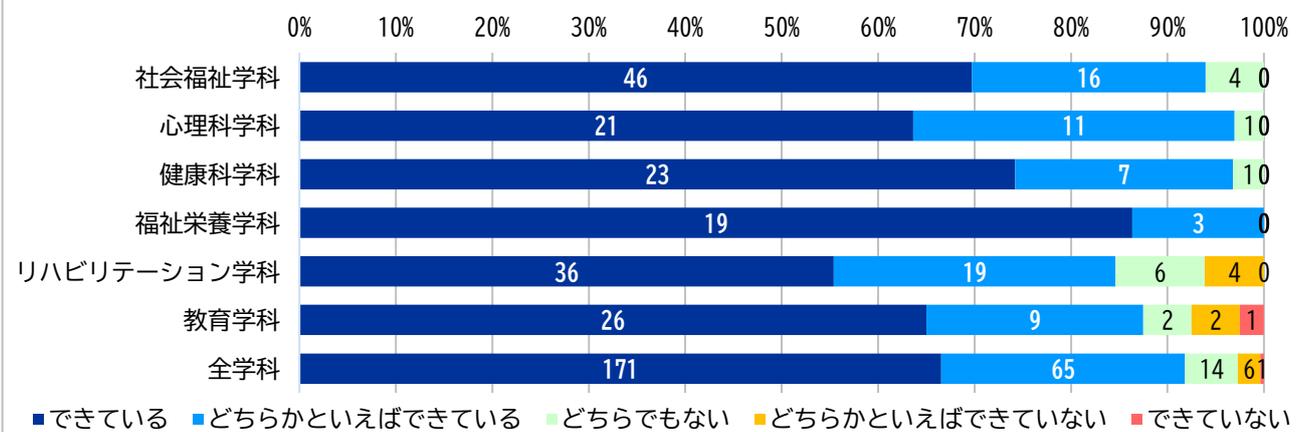
<卒業生>

5-2. 職場の方々と協力できていますか？



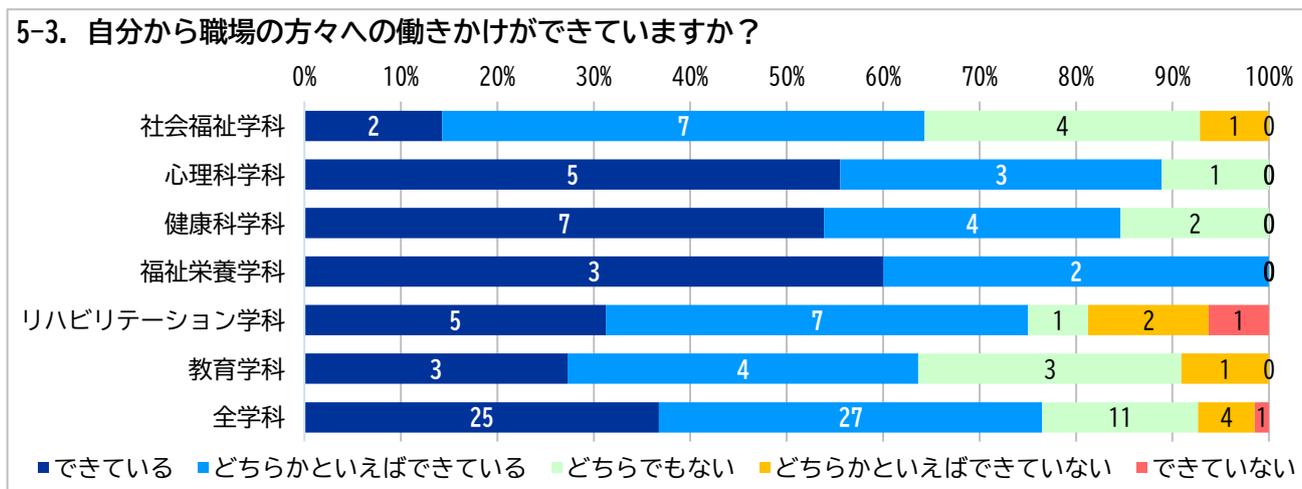
<事業所>

5-2. 職場の方々と協力できていますか？

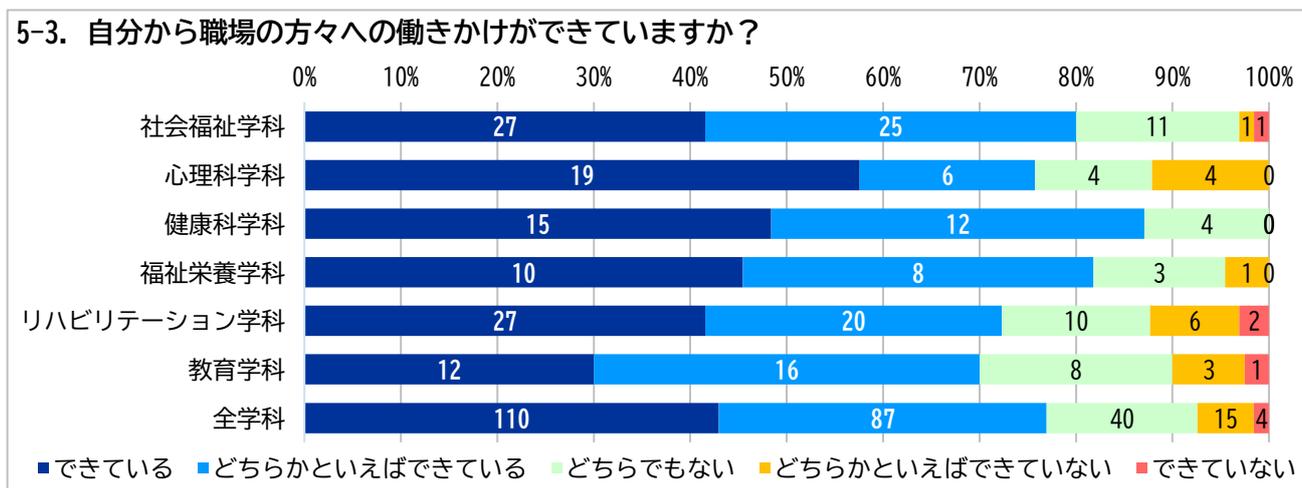


5-3. 自分から職場の方々への働きかけができていますか？

<卒業生>



<事業所>



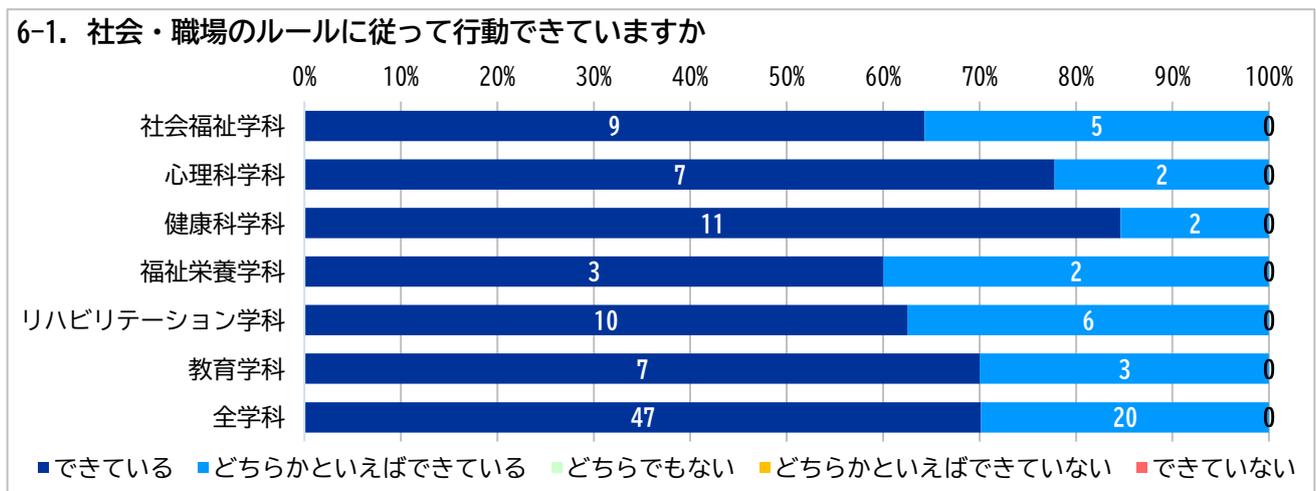
【6. その他】

[6-1. 社会・職場のルールに従って行動できていますか？][6-2. 人との約束を守ることができていますか？]はともに、卒業生自己評価、事業所評価の双方で「できている」「どちらかといえばできている」の割合が高く、他の設問より高い傾向にあり、規範意識を持ち仕事に取り組んでいる卒業生の様子が見える。

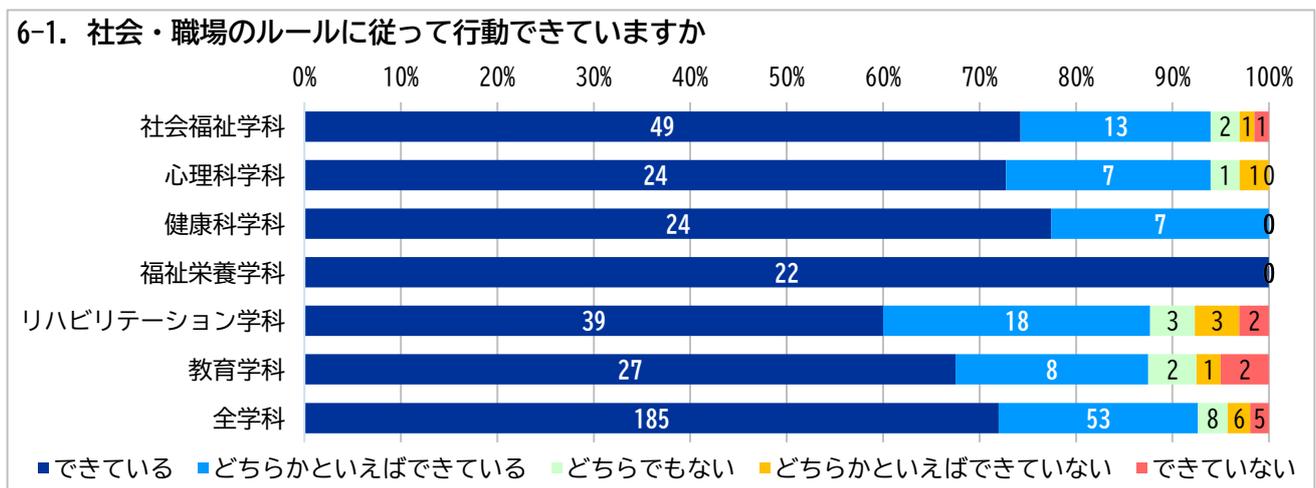
一方、[6-3. 自分の能力を伸ばす努力ができていますか？][6-4. 習得した技能・能力を活用できていますか？]はともに、卒業生自己評価、事業所評価の双方で「できている」「どちらかといえばできている」の割合が高いものの、他の設問より低い傾向にあり、能力の開発や活用にはそれほど積極的でない卒業生の様子も見える。

6-1. 社会・職場のルールに従って行動できていますか？

<卒業生>

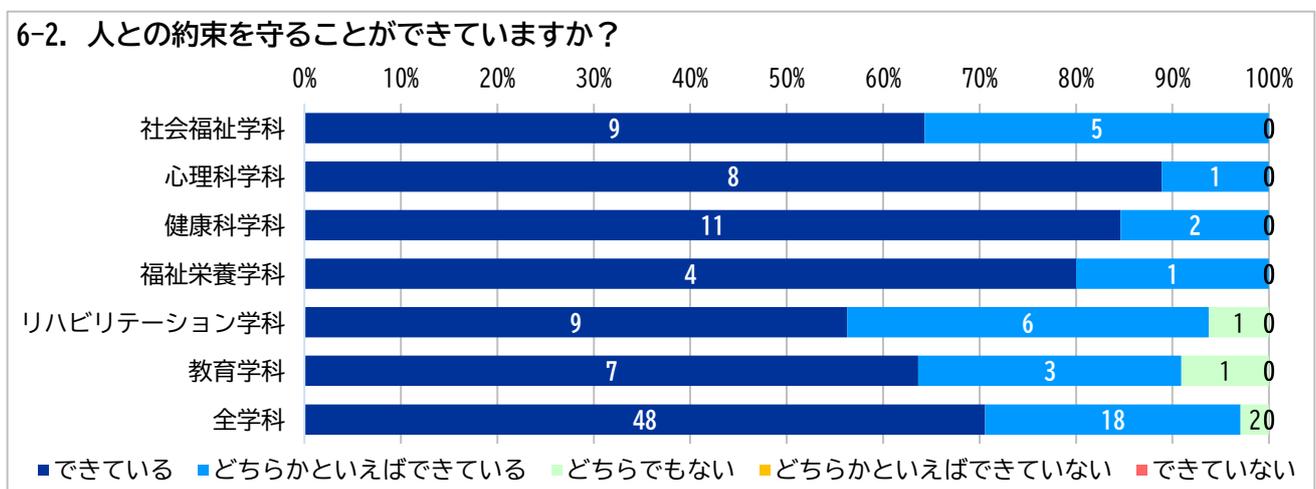


<事業所>

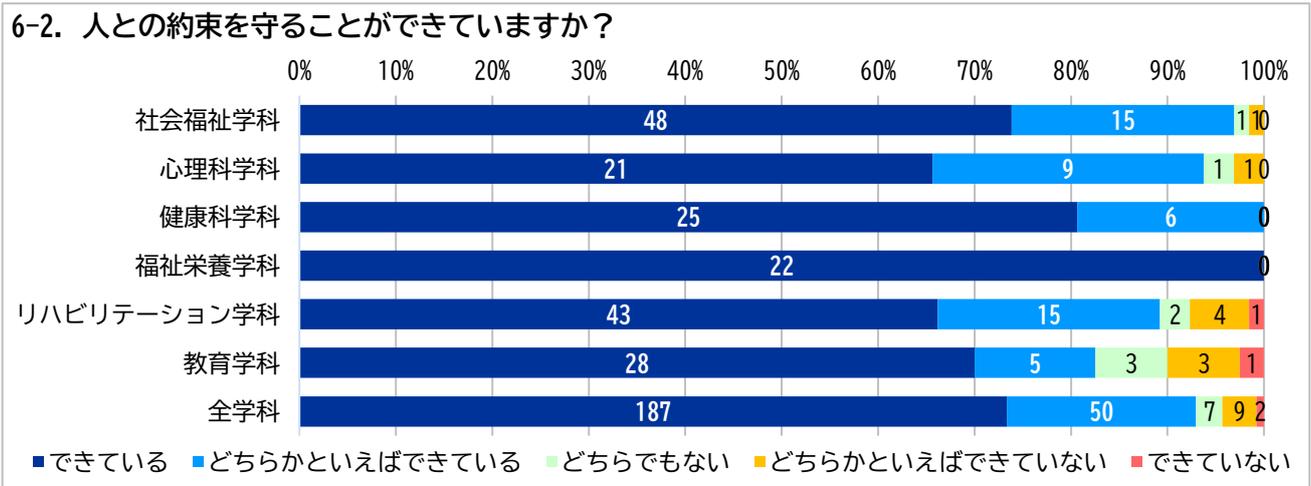


6-2. 人との約束を守ることができていますか？

<卒業生>

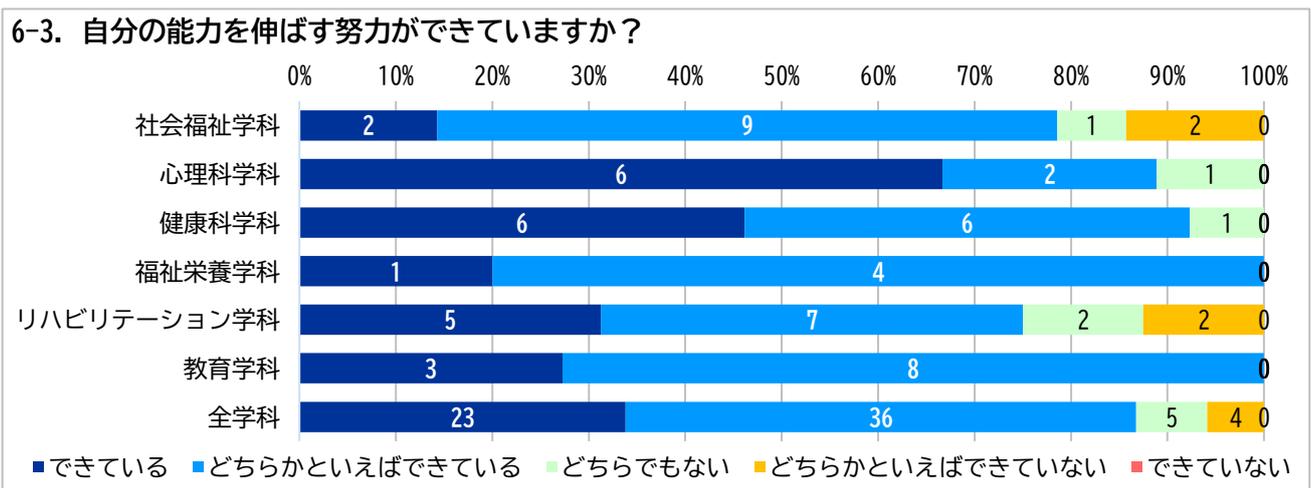


<事業所>

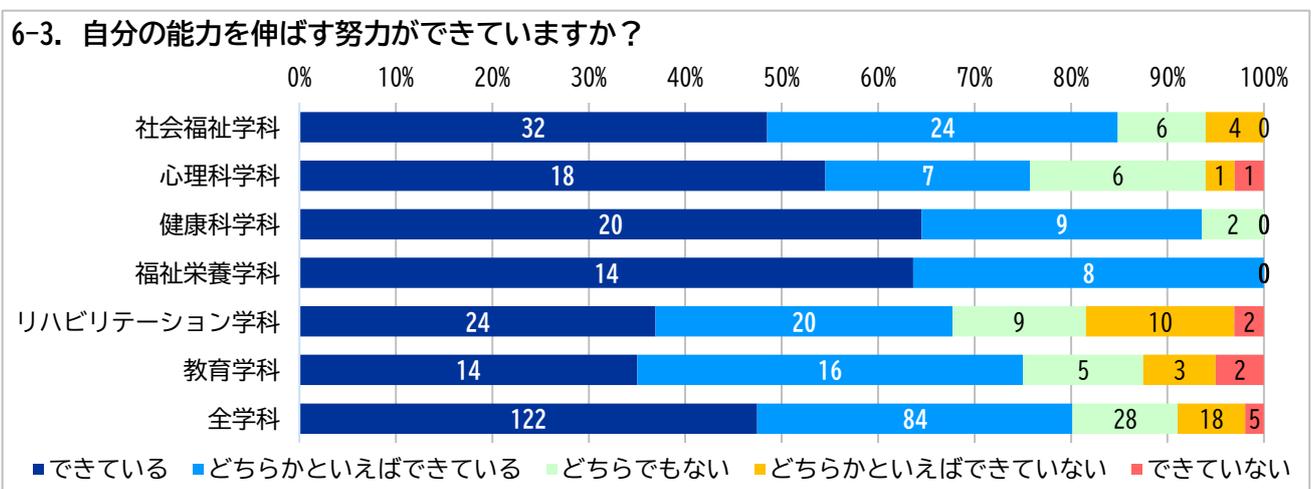


6-3. 自分の能力を伸ばす努力ができていますか？

<卒業生>

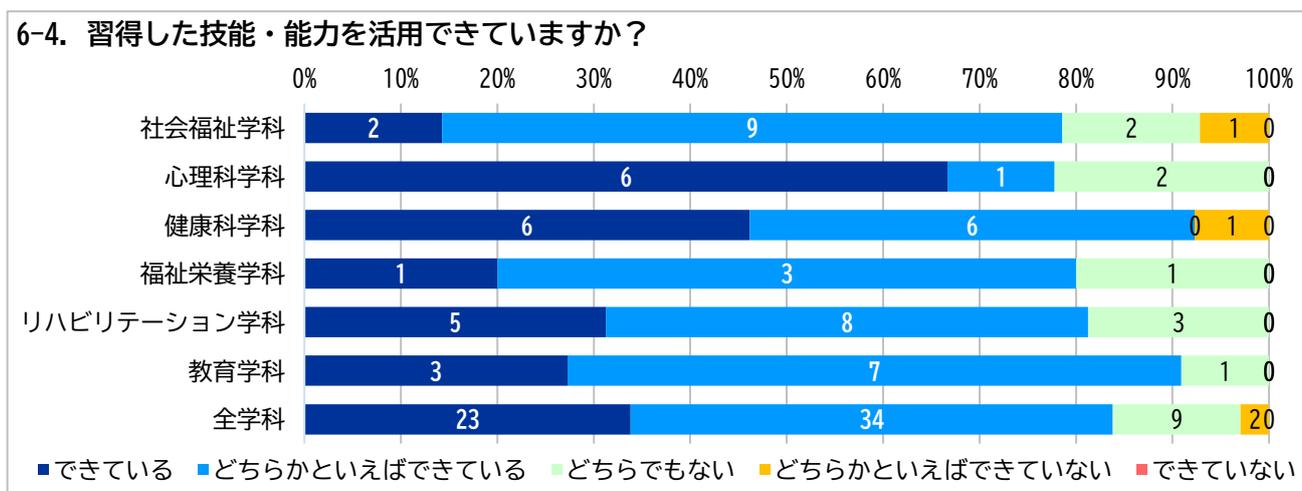


<事業所>

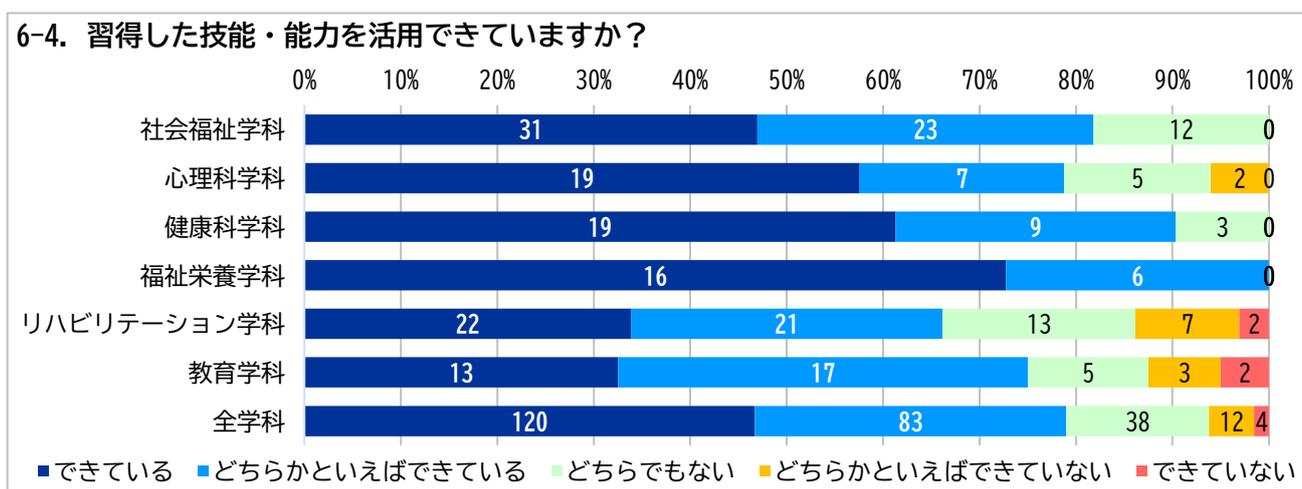


6-4. 習得した技能・能力を活用できていますか？

<卒業生>



<事業所>



【7. データサイエンス教育に関して】 ※事業所のみ

7-1. 本学では令和4年度入学生より必修科目「データサイエンス入門」を開講し、これからの時代に必要とされるデータサイエンスやAIの知識や能力を深める教育を推進しています。

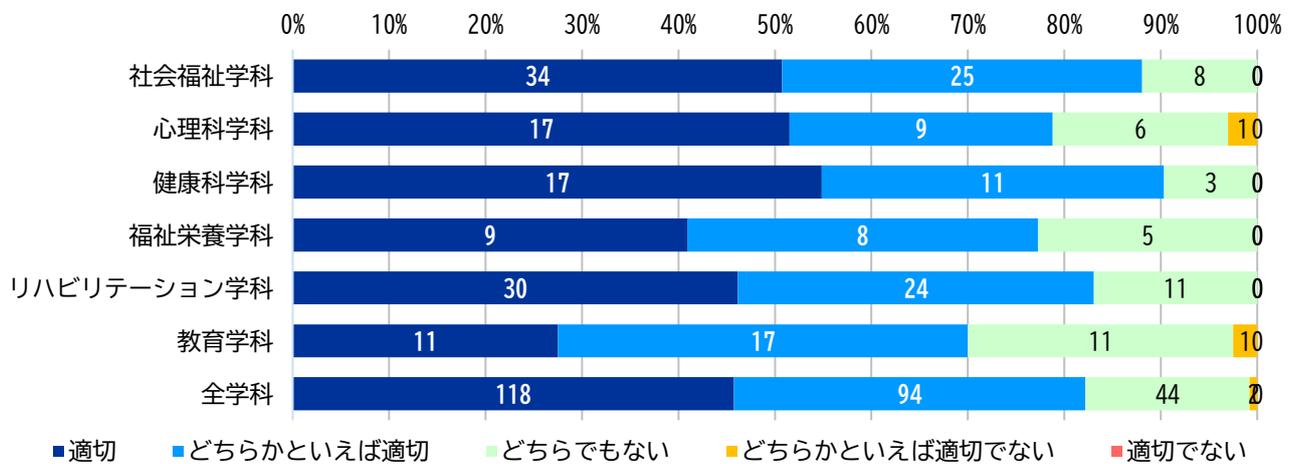
→詳しくはこちら (<https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/profile/ICT.html>)

この教育は、貴事業所が求める人材を育成する教育として適切であると感じますか。

7-1. 本学では令和4年度入学生より必修科目「データサイエンス入門」を開講し、これからの時代に必要とされるデータサイエンスやAIの知識や能力を深める教育を推進しています。

→詳しくはこちら (<https://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/profile/ICT.html>)

この教育は、貴事業所が求める人材を育成する教育として適切であると感じますか



5. 分析結果

- ・職場のルールや時間の遵守、あいさつや言葉遣いについて、卒業生自己評価、事業所評価とも高いことから、社会人としての基本的な姿勢を持ち、仕事に臨んでいると考えられる。
- ・卒業生自己評価では、特に意見の表現、職場の方々への働きかけについて、他の設問より評価が低い傾向にあり、在学中に能動性や伝え方を養い、自信が持てる機会をより設けられれば望ましいと考えられる。
- ・事業所評価では、特に問題解決や職場の方々への働きかけ、能力開発に関して、他の設問より評価が低い傾向にあり、在学中に問題解決能力や能動性を養う機会をより設けられれば望ましいと考えられる。

以上